

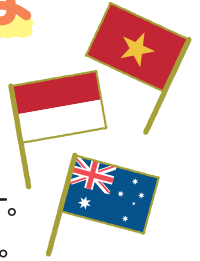


日本のエネルギー資源は 94%が外国頼り?!

電気はほぼ
外国産かも！



日本は電気をつくるエネルギー資源の94%を外国からの輸入に頼っています。
エネルギー資源がどのように、どんな国から運ばれてくるのか、ご紹介します。

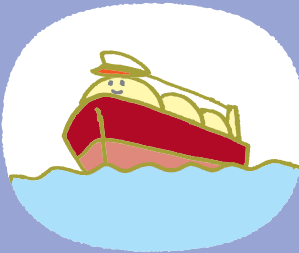


ミラエネQuiz

Q エネルギー資源は日本へ
どのように運ばれてくるのかな？



A. 飛行機



B. 船(タンカー)



C. トラック



— は日本への航路
○ は航路の狭い場所

ホルムズ海峡は
政情不安な国々に
囲まれている

サウジアラビア
カタール

ホルムズ海峡
最も狭いところは
約33km!

海賊が
現れる!

なんと壮大な
船旅なんですよ

正解は、船(タンカー)。日本は島国なので、船ではるばる海をわたって、エネルギー資源が運ばれてきます。ただ、海のルートには危険があり、ときには海賊が出ることも。また、狭くて通りにくい場所があったり、台風に遭遇したりと、運ぶのも簡単ではありません。また、輸入先は政情が不安定な中東の国々が多く、万が一、中東で紛争が発生すると、ホルムズ海峡封鎖という事態にも。輸送途中で何か起こった場合、日本に届かなくなる可能性もあるんです。

海賊や政情不安の
リスクをくぐりぬけて。



福島第一原子力発電所の事故後、原子力発電に対して不安をお持ちの方は多いと思います。中部電力は暮らしに欠かせないエネルギーを安定的にお届けするという責務を持つ会社として、皆さまに「エネルギーのこと、そして浜岡原子力発電所の今」をお伝えしたいと考えています。「ミラエネだより」では、なるべくわかりやすく紹介することで少しでも多くの方にお伝えできればと思っています。



化石燃料は、いろいろな国から日本へ。 中部電力の各エネルギー資源の輸入国トップ3を発表！



石油

1



インドネシア

2



ベトナム



石炭

1



オーストラリア

2



インドネシア

3



カナダ



液化天然ガス (LNG)

1



カタール

2



オーストラリア

3



ロシア

かもじろうの発見！



日本の電気って、かなり自転車操業かも…。
やっぱり電気のムダ使い、気をつけようっと。

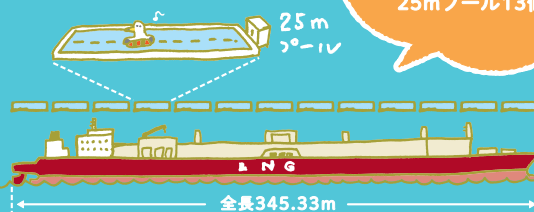
また、昔はエネルギー資源を石油に依存していたため、石油価格が急上昇したオイルショックでは経済に大きな打撃を受けました。そこで、現在はさまざまなエネルギー資源を使用するなど、電気のある暮らしを守るために工夫をしています。

エネルギー資源の輸入が止まると、電気をつくることができなくなり、そのため安定して輸入が続けられるように、輸入先を一つの国に頼るのではなく、いろいろな国へと分散しています。

いろいろな国から
輸入して電気のある
暮らしを守る。

巨大タンカーで17日かけて運んでも3.5日で使い切る

中部電力では、25mプール13個分の長さを誇る巨大な船「Q-Max」(最大積載量約11.7万トン)で、液化天然ガス(LNG)を運んできます。ただ、当社の火力発電所では現在1日約3万4,000トンのLNGを使っているため、約17日間かけてQ-Maxが運んできて、たった3.5日で使い切ってしまう状態です。そのため海のルートには、日本を目指す船が並び、次から次へと入港してエネルギー資源を届けています。



こんなに長い！
「Q-Max」の全長は
25mプール13個分！